

- 問1 日本の気候に適應した人々の生活の工夫について、山形県に見られる「階段が設置され床面が高くなっている電話ボックス」の説明として、地域の自然環境と関連付けて述べたものを選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 火山灰が降り積もる地域において、灰が室内に侵入するのを防ぐための工夫である | 2. 冬に大量の積雪がある地域において、雪に埋もれずに出入り口を確保するための工夫である | 3. 季節風が強い地域において、風による建物の転倒を防止するための工夫である | 4. 台風の通り道となる地域において、高潮による冠水から施設を守るための工夫である |
|--|--|--|---|
- 問2 夏の東北地方の太平洋側において、オホーツク海高気圧から陸地に向かって吹き込む冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-----------|--------|
| 1. からっ風 | 2. 季節風 | 3. フェーン現象 | 4. やませ |
|---------|--------|-----------|--------|
- 問3 新潟県の佐渡島、沿岸部、内陸の山間部における冬の降雪量の特徴を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 暖流の影響を直接受けるのは海岸線であるため、佐渡島から沿岸部、山間部へと内陸に進むにつれて降雪量は減少していく。 | 2. 日本海側では平地ほど気温が低くなりやすいため、内陸の山間部よりも、佐渡島や沿岸部の平野部で雪が降りやすくなる。 | 3. 季節風は海に近いほど水分を多く含んでいるため、内陸の山間部よりも佐渡島のほうが圧倒的に降雪量が多くなる。 | 4. 湿った季節風が標高の高い山々にぶつかることで上昇気流が強まるため、内陸の山間部で最も降雪量が多くなる。 |
|---|--|---|--|
- 問4 新潟県長岡市のように、12月や1月といった冬の時期に降水（降雪）量が突出して多くなる「日本海側の気候」において、冬に多くの降水をもたらす主な要因は何ですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 1. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った風が、直接吹き込むため。 | 2. 夏に発生した台風が日本海側に停滞し、冬まで湿った空気を供給し続けるため。 | 3. 北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。 | 4. 南東の季節風が山脈を越える際にフェーン現象を引き起こし、雲を発生させるため。 |
|--------------------------------------|---|---|---|
- 問5 川が山間部から盆地へ抜ける出口付近に形成される地形は、堆積した土砂の粒が大きく、水が地下にしみ込みやすいという性質を持っています。この地形において、水田よりも果樹園としての利用が盛んである理由として最も適切な説明はどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 河口付近の栄養豊富な細かい泥が堆積しており、果樹の成長に必要な肥料成分が極めて多いから | 2. 土砂の粒が大きく水はけが良すぎるため、地表に水を溜めておく必要がある稲作には適さないから | 3. 平地が少なく傾斜が急であるため、機械を導入した大規模な米作りを行うことが物理的に不可能だから | 4. 標高が非常に高く、気温が低いために稲が十分に育たず、寒さに強い果物の栽培が選ばれたから |
|--|---|---|--|
- 問6 山地から平地へと川が流れ出る場所に土砂が堆積してできた扇状地では、その土地の性質を反映した利用がなされています。扇状地の多くが、水田よりも果樹園や畑として利用されてきた理由を、堆積した土砂の性質に着目して説明したものを選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 堆積した土砂が細かく固まっているため、根が深く張りやすいから | 2. 土砂に肥料が多く含まれており、果実の糖度を高めるから | 3. 周囲の地形に比べて標高が低く、冷たい水が溜まりやすいから | 4. 土砂の隙間が大きく水はけがよいため、水を溜めておくのが難しいから |
|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
- 問7 大分県別府市の境川河口付近において、昭和五十年代と平成二十五年の二枚の二万五千分の一地形図を比較した際に読み取ることができる、都市開発に伴う人工的な景観の変化として正しいものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. 河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に新たな橋が建設された | 2. 自然環境を復元するために、既存の橋を撤去して河口を昭和以前の形状に戻した | 3. 防災機能を強化するため、河口付近の住宅地を撤去して警察署や消防署が設置された | 4. 食料不足を解消するために、沿岸部の埋め立て地に広大な田畑が作られた |
|----------------------------------|---|---|--------------------------------------|
- 問8 熊本県にある阿蘇山の周辺で見られる、噴火によって形成された広大な窪地（カルデラ）の地形的特徴と、そこでの人々のくらしに関する説明として最も適切なものはどれか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. カルデラの中には広大な草原が広がっており、肉用牛の放牧などが盛んに行われている。 | 2. カルデラの急斜面を利用して、段々畑でのみかんやレモンなどの果樹栽培が盛んである。 | 3. カルデラは水はけが良すぎるため、シラス台地としてサツマイモの栽培が中心となっている。 | 4. カルデラ内の石灰岩が雨水で溶食されたことで、カルスト台地と呼ばれる独特の景観が広がっている。 |
|---|---|---|---|
- 問9 地形と防災の関係について述べた次の文のうち、地下鉄の駅における「浸水防止対策」の説明として正しいものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 標高が低い地域の地下鉄駅において、入り口を高く設計することで洪水の流入を防ぐ工夫 | 2. 地滑りが発生しやすい傾斜地の駅において、ホームを地下深くへ設置する工夫 | 3. 土石流の被害が懸念される山間部の駅において、駅の周囲に防護壁を設置する工夫 | 4. 液状化現象が予想される臨海部の駅において、建物の基礎を岩盤まで打ち込む工夫 |
|---|--|--|--|
- 問10 日本の四季折々の年中行事は、それぞれの時期や目的が深く結びついています。次の説明のうち、内容が正しいものを選びなさい。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 五月に行われるひな祭りは、女の子の成長を願って雛人形を飾る行事である。 | 2. 十一月に行われる七五三は、三歳・五歳・七歳の子供の成長を祝う伝統行事である。 | 3. 四月に行われる灌仏会は、秋の収穫に感謝するために全国の農村で行われる行事である。 | 4. 三月に行われる端午の節句は、男の子の成長を願って鎧や兜を飾る行事である。 |
|--|---|---|---|
- 問11 三重県の志摩半島や三陸海岸南部に見られる複雑な海岸線は、その形状から「波が穏やかである」という特徴があります。この特徴を活かして盛んに行われている産業と、その理由の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 砂浜海岸での観光業：遠浅の海岸が続く、大規模な海水浴場を整備しやすいため。 | 2. 大規模な稲作：背後に広大な平坦な土地が広がり、機械化しやすいため。 | 3. 重化学工業のコンビナート：海岸線が直線的で、大型船が高速で巡航しやすいため。 | 4. 真珠やカキの養殖業：入り江が深く、外海の荒波の影響を受けにくいため。 |
|--|--------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問12 岡山市、大津市、富山市、松山市、鹿児島市など、地形や地理的条件が異なる各地の自治体が作成している「ハザードマップ」の内容について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 各世帯の正確な位置を把握し、郵便物の配達や選挙の投票所の割り当てを効率化するために作成されている。 | 2. 住宅地、商業地、工業地などの土地の利用状況を色分けし、将来の都市開発の制限を示すために作成されている。 | 3. 等高線を用いて土地の起伏を正確に表し、主に登山や土木工事の計画を立てるために作成されている。 | 4. 火山灰の降下範囲や土石流の危険性、洪水の浸水想定区域など、地域の特性に応じた情報が記載されている。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 冬に大量の積雪がある地域において、雪に埋もれずに出入り口を確保するための工夫である	山形県などの積雪地域では、一晩で数十センチメートル以上の雪が積もることがあります。このような環境下で公共施設を維持するためには、雪が積もることを前提とした設計が必要です。床面を高くする工夫は、除雪が追いつかない状況でも施設としての機能を維持するための、積雪地域特有の知恵と言えます。
問2	答え 4 やませ	夏の東北地方の太平洋側では、北のオホーツク海で発達した高気圧から、湿った冷たい空気が北東風となって流れ込むことがあります。この風を「やませ」と呼び、数日間にわたって吹き続けると気温が上がらず、濃霧が発生することもあります。
問3	答え 4 湿った季節風が標高の高い山々にぶつかることで上昇気流が強まるため、内陸の山間部で最も降雪量が多くなる。	地形と降雪量の関係において、上昇気流の発生が重要な鍵となります。日本海を渡ってきた湿った季節風は、佐渡島や沿岸部のような平坦な場所では雲が十分に発達しきれず、降雪量は限定的です。しかし、内陸にある標高の高い山地にぶつかると、強制的に強い上昇気流が発生して厚い雪雲が作られるため、山間部の降雪量は沿岸部よりも圧倒的に多くなります。
問4	答え 3 北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。	冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に、対馬暖流の影響で蒸発した水分を大量に蓄えます。水分を含んだ空気が日本列島中央の山脈にぶつかって上昇することで雲が発達し、日本海側に大雪や雨をもたらします。
問5	答え 2 土砂の粒が大きく水はけが良すぎるため、地表に水を溜めておく必要がある稲作には適さないから	扇状地は、川が運んできた砂や小石が堆積してできた地形です。堆積物の隙間が大きいいため、雨水や河川水が地下へと深く染み込んでしまう「水はけが良い」状態になります。米作り（稲作）には田んぼに水を張る必要がありますが、扇状地では水がすぐに抜けてしまうため、水田には適しません。一方で、果樹は乾燥した土壌でも育ちやすいため、山梨県の甲府盆地などに代表されるように、扇状地はブドウや桃などの果樹園として最適の土地となります。
問6	答え 4 土砂の隙間が大きく水はけが良いため、水を溜めておくのが難しいから	扇状地などの堆積地形は、粒の大きい砂や礫が積もってできているため「水はけ」が非常に良いのが特徴です。水田を作るには地表に水を溜める必要がありますが、水がすぐに地下へ浸透してしまう扇状地では水田開発が困難でした。一方で、水はけの良さを好むブドウやモモなどの果樹栽培や畑作には適していたため、現在のような土地利用が広がりました。
問7	答え 1 河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に新たな橋が建設された	都市の発展に伴い、限られた平地を拡張するために沿岸部の埋め立てが行われることがあります。大分県別府市の事例では、昭和五十年代には自然な形状で海に開かれていた河口が、平成二十五年までには直線的に埋め立てられ、さらにその海上に新しい橋が建設されるなど、交通網の整備と土地利用の高度化が同時に進んだことを地形図から読み取ることができます。
問8	答え 1 カルデラの中には広大な草原が広がっており、肉用牛の放牧などが盛んに行われている。	阿蘇山のカルデラやその周囲を取り囲む外輪山には、古くから広大な草原が形成されています。この環境を活かして、あか牛（褐毛和種）などの肉用牛の放牧や、採草地としての利用が盛んに行われてきました。シラス台地は南九州（鹿児島県など）、段々畑の果樹栽培は愛媛県などの沿岸部、カルスト台地は山口県の秋吉台などが代表的な例であり、阿蘇山の特徴とは異なります。
問9	答え 1 標高が低い地域の地下鉄駅において、入り口を高く設計することで洪水の流入を防ぐ工夫	地下鉄の浸水防止対策は、主に都市部の低地における水害リスクを軽減するために行われます。特に海抜ゼロメートル地帯を走る路線では、駅の入り口に階段を設けて高くしたり、止水板を設置したりすることで、洪水時でも駅構内の安全を確保し、都市機能を維持する役割を果たしています。
問10	答え 2 十一月に行われる七五三は、三歳・五歳・七歳の子供の成長を祝う伝統行事である。	七五三は、子供の死亡率が高かった時代に、無事に成長したことへの感謝を込めて十一月に行われるようになった行事です。他の選択肢については、ひな祭りは三月、端午の節句は五月に行われるものであり、灌仏会は四月の釈迦の誕生を祝う行事であるため、時期や内容が異なります。
問11	答え 4 真珠やカキの養殖業：入り江が深く、外海の荒波の影響を受けにくいから。	リアス海岸は複雑に入り組んだ湾の構造により、外海からの波が遮られるため、湾内は非常に穏やかです。この特性を利用して、波の静かさが求められる真珠（志摩半島）やカキ（三陸海岸）などの養殖業が古くから発展してきました。一方で、背後にはすぐに山が迫っているため平地が少なく、大規模な稲作や工業地帯の形成には不向きという側面もあります。
問12	答え 4 火山灰の降下範囲や土石流の危険性、洪水の浸水想定区域など、地域の特性に応じた情報が記載されている。	ハザードマップは、鹿児島市であれば火山の噴火被害、大津市や岡山市であれば河川の氾濫や浸水など、その土地特有の自然環境に基づいたリスクを反映させる必要があるため、地域によって記載される内容が異なります。